

TPMかグロースか——

ゲームチェンジ後の



ブリッジコンサルティング
グループ
田中 智行

TPMとグロースで
支援する側・される側を経験



監査法人 Innovation
橋本 剛

IPO監査歴15年超
TPMもグロースも一気通貫支援



Realight
足立 将

成長フェーズに適した
システムを会計士の視点で提案



山本 雄三



TPMかグロースか
最適ルートを探る



支援者選びのコツと
見極めポイント



IPO支援家が語る
準備不足の共通点

IPO戦略

Real Seminar

10.22 [木] 14:00-16:30
日経カンファレンスルーム
(大手町)

お申込み <https://www.obc.co.jp/261022>



お申込み ※右の二次元コードからもお申込みいただけます。

<https://www.obc.co.jp/261022>



TPMかグロースか、ゲームチェンジ後のIPO戦略 —支援者・体制・コストの違いから、自社に合う上場ルートを考える—

パネリスト：
ブリッジコンサルティンググループ
田中 智行氏
監査法人Innovation 橋本 剛氏
ReaLight 山本 雄三氏

ファシリテーター：
ReaLight 足立 将氏

IPOを目指す企業が選択するルートとして、近年はTPM（TOKYO PRO Market）とグロース市場が注目されています。しかし重要なのは、「どちらが正解か」ではありません。自社の成長フェーズや組織体制、資金調達の必要性に応じて、適切なルートを選ぶことです。本セミナーでは、J-Adviser／IPO支援のブリッジコンサルティンググループ、管理体制・システム導入のReaLight、TPMとグロースの両方の監査を担う監査法人Innovationの3社が登場。「支援者選び」と「体制構築」という2大テーマを軸に、TPMとグロース、それぞれの考え方や準備の違いを対話形式で掘り下げます。資料には残せない失敗談や監査の本音まで踏み込む、その場で質問しながら学べるオフライン限定のセミナーです。

（1）支援者選び ～誰と、どう組むか～

- ・ 支援者（J-Adviser／IPO支援会社／システム導入会社／監査法人）の役割と、それぞれが果たすべき役割の違い
- ・ TPM・グロースそれぞれで求められる支援体制と、パートナー選定時の見極めポイント
- ・ 良い支援者とそうでない支援者の分かれ目（「できない」を正直に言えるか、上場後も伴走できるかなど）

（2）体制構築 ～いつ、どこまで整えるか～

- ・ 創業期からN-3期、N-2期、上場後まで。管理体制、内部統制、システム整備の進め方
- ・ TPMとグロースで異なる準備レベルと、自社に合った整備の優先順位
- ・ 監査から見た「準備が甘い会社」の共通点と、後から苦労しないための設計ポイントなど

（3）その他論点

TPMとグロースのコスト感、上場後の効果と実態、ステップアップ上場 など

ブリッジコンサルティンググループ株式会社 取締役／公認会計士 田中 智行氏

上智大学文学部史学科を卒業後、2004年に公認会計士試験合格。中央青山監査法人（のち、みずほ監査法人）、あらた監査法人（現PwC Japan有限責任監査法人）、株式会社オーナーズブレイン、有限責任監査法人トーマツを経て、2012年に独立。2015年4月から当社提携パートナー会計士として活動している中で、散在している公認会計士の経験・知見・想いを集約し最適配分することにより1社でも多くの企業を支援するビジネスモデルに魅力を感じ、同年9月に1人目の社員として当社に入社。現在は事業部門の責任者として事業全体を掌管。



監査法人Innovation 法人代表／公認会計士 橋本 剛氏

1984年、神奈川県横浜市生まれ。2009年に法政大学を卒業後、あずさ監査法人(現:有限責任あずさ監査法人)に入所。2019年に監査法人アヴァンティアに入所し、翌2020年に同法人のパートナーに就任、同年にIPO推進室を創設し、2025年1月まで責任者を務める。2025年2月に同部署をベースに監査法人Innovationを設立、法人代表に就任。



株式会社ReaLight CEO／公認会計士 山本 雄三氏（左） COO／公認会計士 足立 将氏（右）

あずさ監査法人を経て、2020年に「日本の経理に改革をもたらす」という信念のもと、経理DX事業をスタート。「会計士 × システム」のハイブリッドな専門性を活かし、IPO準備企業をはじめとする多数の企業に対して、最適な会計システムの選定・導入を支援している。属人化傾向にある経理業務を見える化・標準化し、業務改善も組み合わせた“実行力のあるDX支援”が強みとしている。また、システム導入後の定着・運用までの踏み込んだアウトソーシングまで行い、企業の成長フェーズに合わせた経理体制の最適化と組織変革を現場に入り込みながら実現している。



TPMかグロースか、ゲームチェンジ後のIPO戦略 —支援者・体制・コストの違いから、自社に合う上場ルートを考える— @大手町

日時	2026年10月22日（木）14:00～16:00、名刺交換会16:00～16:30（開場13:45）
定員	50名
会場	日経カンファレンスルームA（大手町） 〒100-8066 東京都千代田区大手町1丁目3-7 日経ビル6階
対象	上場準備企業のCFO、管理部長、経理・財務部門責任者 等
参加費	無料（事前登録制）
共催	株式会社ReaLight／ブリッジコンサルティンググループ株式会社／監査法人Innovation／株式会社プロネクサス／東京海上日動パートナーズ株式会社／株式会社オービックビジネスコンサルタント
お問い合わせ	株式会社オービックビジネスコンサルタント 担当：坂本／山口 mail： obc-as@obc.co.jp

※ 講師・共催企業と同業の方、個人の方はお申込みをお断りする場合がございます。
※ 講師・講演内容は予告なく変更になる可能性があります。